

Rotary

国際  
R  
I

ジェニファー・ジョーンズ会長

2022-2023年度  
会長 西村 敏信  
幹事 茶谷 勝

## 出席報告

本日出席	12人
欠席	9人
出席率	57.14%
第3322回のメイクアップ	3人
第3322回の出席率	57.14%→71.42%

## 直前会長あいさつ 坪井孝博君



会長を終え、さぼっているわけではないが、多忙で出られない状況が続く。先日、魚津工業高校の女子生徒が治療に来た。ボランティアに興味があり、生徒会長と同じ書道部ということで、インターアクトへの参加を勧めた。さて、今日の卓話はミャンマーからの米山奨学生、テーヌさんです。よろしくお願いします。

## 新入会員入会式

### 富山県議会議員

### 澤崎 豊(さわさき ゆたか)君



念願叶い、伝統ある魚津RCに入会できました。きょうからロータリアンということで、バッチやたくさんの備品をいただきました。ロータリーの歴史を次代につなぐことを誓います。

## ゲスト・ビジター

米山奨学生 テーヌ スェージン 様

米山記念奨学会(富山みらいRC)  
打出 孝彦(うちで たかひこ)様  
米山カウンセラー(立山RC)  
宝田 明芳(たからだ あきよし)様



## 米山記念奨学生卓話

### テーヌ スェージンさん(富山大)



#### 「どんなことを学んでいるか」

米山奨学生のテーヌ・スェージンさん(ミャンマー)が「自己紹介～現在どんなことを学んでいるか～」の題で卓話を担当した。ミャンマーの主要な観光地や食文化に触れながら、日本留学のきっかけ、大学生活やサークル活動について語った。

ミャンマー最大都市、ヤンゴンに生まれた。富山大学経済学部経営学科3年生に在籍し、留学生生活を送っている。高校卒業後、留学したいと思っていた。親戚が日本語学校を運営していたため、興味を持ち留学先に選んだ。日本語の発音は、はっきりしていてきれいな印象を受ける。

初めてアルバイト経験したお寿司屋さんで、挨拶の大切さを学んだ。ミャンマーには挨拶の習慣がない。挨拶だけはしっかりするようにしている。他人に迷惑をかけない日本人の国民性には感心している。オーケストラのサークルに所属。留学生は私1人で、先輩後輩の関係を学んだ。

観光は大規模な仏教遺跡で有名なパガン、山が美しく緑に囲まれているシャン州、ビーチリゾートのガパルビーチがお勧め。ミャンマーに行きたくなったですか。

## 委員会報告

### IM実行委員会 川岸ガバナー補佐

富山第1グループのIMIについて、ポスターを掲示している。3月26日(日)午後2時からホテルグランミラージュで開催する。基調講演第1部は富山RCパストガバナーの若林啓介氏、第2部は富山大学教授の張勁氏が担当する。皆さん、速やかに登録の準備を進めていただきたい。

## ニコボックス報告

稲盛仙三君 18日に富山みらいRCにお邪魔します。よろしくお願いします。

打出孝彦様 ビジター  
宝田明芳様 ビジター

## 出席報告

本日出席 16人  
 欠席 5人  
 出席率 76.19%  
 第3323回のメイクアップ 3人  
 第3323回の出席率 57.14%→71.42%

## 会長あいさつ

## 西村敏信会長



10月は経済と地域社会の発展月間であり、米山月間でもある。先日、米山カウンセラーの稲盛さんとスッパ・ソニさんが卓話をするので同行した。朝日、富山みらい両RCの例会に参加した。魚津RCとやり方が違うので紹介する。富山みらいRCは

「我等の生業」の歌はバンドによる生演奏だった。朝日RCは「四つのテスト」を歌で唱和をしており、クラブごとに工夫をしているのが分かった。地域社会の発展月間ということで、本日は村椿市長から卓話を通して私たちへのメッセージをいただく。私たちは経営という立場で社会を担っている。しっかり支えていくメンバーの一人だ。私は儀礼的な「微力ながら」という言葉が嫌いだ。「全力」で支えるという気持ちが大切である。皆さん、本音で語り合ひましょう。

## ゲスト・ビジター

魚津市長 村椿晃(むらつばき あきら)様

## ニコボックス報告

川岸芳雄君 村椿市長、本日はありがとうございます。来年3月26日、新川地区のロータリー関係者が一堂に集まります。

西村敏信君 村椿市長、本日はありがとうございます。



村椿市長(右)と談笑しながら、昼食をとる会員

## ゲスト卓話「魚津市政について」



## 村椿魚津市長

村椿晃魚津市長が「魚津市政」の題でゲスト卓話を担当した。市制70周年記念行事の「しんきろうマラソン」「よっしゃ来いCHOUROKUまつり」「大阪桐蔭高校野球部との交流試合」「じゃんとい魚津まつり」「〇〇魚津」開催を

振り返りながら、県内トップをうかがうふるさと納税の状況、めどがついた財政健全化計画、次世代に向けた財政計画について説明した。



例会次第には誕生祝いなしとのことですが、今日、満65歳になりました。高齢者の仲間入りです。皆さんにこのような形でお祝いしていただき、ありがとうございます。

今年魚津市制70周年ということで、たくさんの方の記念行事を企画し、多くの方に応援・参加をいただき、実施してきた。「〇〇魚津」も3年ぶりの開催で、4月以来23番目の行事になる。12月までに後7つあり、トータル30を数える。同じく周年を迎えた他の自治体から、魚津市は「すごい」と驚嘆の声が上がっている。有難いと思う。

大阪桐蔭高校野球部との交流試合では、県内から参加した4校いずれも全部負けたが、その後の、夏の甲子園県大会で魚津、魚津工業、新川の3高が8強に残ってくれたので、うれしかった。

魚津市は手続きのデジタル化を推進しており、市の公式LINEを使って予約などするのが便利なので、お勧めする。

ふるさと納税の伸びが著しい。平成20年度にスタートした時は200万円ほどだった。令和2年度が2億円余り。3年度は4億5千万円を超えて県内3位。4年度は今のペースが続けば6億円に届きそうだ。

財政健全化計画のポイントは2つある。基金繰り入れに頼らない持続可能な行財政運営の確立。財源不足5億円をなんとかしようということだ。もう一つは緊急時に備え、貯金に当たる財政調整基金を10億円確保することだ。今年の9月の段階で目標が達成できた。